

雑誌の部屋

⑤

「雑誌の部屋」は、当館が所蔵しているたくさんの雑誌を、もっとみなさんに手にとっていただけるよう紹介するコーナーです。

第5回の今回は、一般雑誌とその中の音楽特集号についてご紹介します。

みなさんは、当館で受け入れている雑誌が、「音楽雑誌」と「一般雑誌（音楽以外の雑誌）」に分けられているのをご存知ですか？

参考図書室の雑誌コーナーの棚も、「音楽和雑誌」と「一般和雑誌」に区別されていますね。

当館では、おおまかに言って、音楽雑誌は永久保存、一般雑誌は1年あるいは4年保存、という扱いにしています。

そしてもし、一般雑誌の中に、音楽の特集記事があった場合には、その号を永久保存にしています。

『ユリイカ』

発行／青土社 月刊（+臨時増刊号）



請求記号●P1026 44(12)
(2012年10月号)



請求記号●P1026 26(1)
(1994年1月号)

『ユリイカ』は、1956年に書肆ユリイカから、そして、1969年からは青土社より発行されている、とても歴史のある雑誌です。「詩と批評」というサブタイトルが付けられているように、毎号、詩について深く掘り下げられている雑誌ですが、テーマは詩にとどまらず、文学・映画・美術・マンガ・アニメ・社会現象など、毎号、興味深い特集が組まれています。

また、音楽関係の特集が多く組まれているのも特徴で、これまでも、作曲家や、音楽グループ、あるいは音楽のジャンルを取り上げた号が数多くあります。

そして、新しい情報について取り上げるのも非常に早く、例えば、ボーカロイド（歌声合成技術とその

応用ソフトウェア）である「初音ミク」については、かなり早い時点で（2008年12月臨時増刊号）特集が組まれていたのは、記憶に新しいところです。

当館では、『ユリイカ』を一般雑誌（音楽以外の雑誌）として扱っていますが、毎号の特集が興味深いのももちろんのこと、音楽の特集についても、いわゆる音楽の専門誌とはまた異なった視点や切り口が、とても新鮮で興味深く感じられ、皆さんにもぜひ読んでいただきたい雑誌のひとつです。

なお、写真でご紹介した2冊（ジョン・ケージの特集号）は、当館ではどちらも永久保存扱いとしています。

ふだん、図書館の雑誌コーナーで「音楽和雑誌」しか見ないという方も、たまには「一般和雑誌」のコーナーにも目を通してみてはいかがでしょうか。皆さんにとって、新しい発見があることを願っています。